



C.P.I. The Committee for Promotion to Innovate Japanese  
People by Educational and Cultural Contact, since 1979  
教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9 TEL& FAX:0422-49-3808  
E-mail:[cpimate@gmail.com](mailto:cpimate@gmail.com) URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

---

# 平成25年度 事業報告

2013 年度(平成 25 年度)

平成26年6月22日総会資料

認定 NPO 法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会

## 平成 25 年度（2013 年度）活動の総括

### 1. はじめに

C.P.I.の活動は、評価は上がり、発展の可能性は高いものの、財政上の課題があります。

ひとつは、現地の一人あたりの教育里子への援助物資・補習クラス・通学費など一部の援助必要額が 20%ほど増加しており、なお且つ、ここ数年の円安転換の影響も出てきたことです。つまり、一昨年までは、100 円で 130 ルピーの支援ができていたとしますと、同様の支援は現在 156 ルピー必要であり、円換算では、円安になったので 130 円を必要とするものが出てきたということです。事務局の試算では、教育里親数＝教育里子数と同数でありましても、教育里子ひとり当たり 27,000 円の教育支援を必要とする勘定です。現在の 24,000 円の教育支援金のご負担は、3,000 円ほど、必要な資金に対して不足しております。

また、一般会計の対収入の支出超過がこの数年続いていることも課題です(P8を参照)。

当会は、23 年間、年間の会費・支援金を教育里子ひとり当たり 36,000 円に据え置いて運営してまいりました。最近の十数年は、本部の事業推進費については任意団体時代(～平成 13 年度まで)の儉約による剰余金(約 2000 万円)および賛助支援金等により賄い、正会員会費で賄っている事業管理費についても、平成 18 年以來の大幅な削減で賄いました(以下に掲げる表を参照)。

しかしながら、それらの施策も、限界まで来ております。当会の財政健全化を正会員の皆様にお諮りする時期に来ておりますことを報告申し上げ、ご検討をお願い致したく存じます。

(事業管理費 推移表)

	H14		略		H18		略		H21		略		H24		H25	
	2002年				2006年				2009年				2012年		2013年	
専務者給与	8,400				3,600				3,600				3,600			3,600
職員給与	2,450				3,192				2,250				2,390			2,390
雑給	652				1,227				688				330			310
海外連絡部	360				35				0				0			0
法定福利費	78				12				6				0			7
福利厚生費	50				31				11				8			31
旅費交通費	533				211				79				64			67
交際費	28				22				73				8			58
郵便料	725				545				141				175			132
宅配メール便	24				95				81				5			28
国内電話料	404				410				363				277			315
海外電話料	214				170				226				78			39
会議費	0				25				46				9			60
消耗品費	270				82				254				153			75
事務用品費	225				236				161				157			76
運搬費	127				53				47				17			25
水道光熱費	272				107				85				73			71
賃借料	2,010				1,709				1,822				1,694			1,813
図書研究費	108				65				0				0			1
支払手数料	64				58				56				52			44
諸会費	143				89				94				57			108
リース料	0				0				0				12			64
雑費	86				40				47				38			68
保険料	0				0				17				69			88
修繕費	47				9				10				0			1
租税公課	0				3				2				5			0
事業管理費 合計	18,200				12,026				10,159				9,271			9,470

## 1. 教育里親制度プログラム(定款第七条1項1号)を行いました。

### (1) 貧困家庭にある優秀な学生への教育支援

#### ① スリランカ SNECC との協働 (資料付表(1)に詳細)

学校の成績が優秀または技術卓抜な学生で、家庭経済に困窮している者を、SNECC との協働で選考し支援した。教育里子 604 名(前期 613 名)に対し、教育里親 526 名(前期 554 名)により、1250万円の規模で行った。

(註)平成 25 年度奨学生 604 名中、9 年生 50 名、10 年生 137 名、11 年生 232 名、12 年生 57 名、13 年生 42 名(2013 年に初の AL 試験)、13W 生 86 名(2013 年に再度 AL 試験)

#### ② インドネシア PPKIJ との協働(資料付表(2)に詳細)

C.P.I.が協働協約を結んだ現地内務省との協働の下で以下の活動を行ってきた。

学校の成績が優秀または技術卓抜な学生で、家庭経済に困窮している者を、PPKIJ との協働で選考し支援した。教育里子 197 名(前期 229 名)に対し、教育里親 186 名(前期 204 名)により、430万円の規模で行った。また、この活動の円滑のために、PPKIJ 調査活動費等に

61.5 万円の支出を特別会計から行った。バランス的に教育里親の増加が待たれる。

(註)平成 25 年度奨学生 197 名中、中学3年生 15 名、高校1年生 36 名、高校2年生 36 名、高校3年生 60 名、大学1年生 40 名、大学2年生 10 名。

大学3年生以上は自活することになっている。

### (2) 教育里親に対する里子の状況報告

教育里子支援開始の 25 周年に係るこれまでの経緯と課題を、個別の教育里子報告、および現地会報(ステューティとクルアルガ)ならびに各地展示会において報告を行った。

## 2. 市民間の交流活動(定款第七条1項3号)を行いました。

### (1) 日本インドネシア市民友好フェスティバルの実行委員会を再び組織し、今後の現地からの参加に道筋をつけた。開催日は 7 月 13~14 日。東京・代々木公園で来場者は 4 万人であった。



背景幕を高校生が作成した



日頃の練習成果を披露する



ゴミ処理に励む高校生たち

### (2) スリランカ教育里子との交流は、8 月末から 9 月初めの現地ツアー(団長・牟田理事)、9 月 16 日の東京・オリンピックセンターでの交流会、1 月の奨学生認証式への参加交流団(団長・小西会長)と盛り沢山であった。



数年ぶりに全国から集合



踊りの勉強を支援中の学生



奨学品を手渡す里親さん

#### 4. 地域を絞って人々を勇気づける活動(定款第七条1項2号)を行いました

- (1) スリランカの北部・旧内戦地域で難民キャンプから出された人々の生活は、目を覆うばかりである。政府は食糧ほか最低限の日用品を買えるクーポンを支給している。しかし、根本的な解決には程遠い。そのような中、C.P.I.は、教育里子を増やし、奨学金活動で人々を勇気づける活動を行っている。教育里親制度発足 25 周年事業として、その活動の発展を願ってくださる声楽家・岡村喬生さんによる応援コンサートを、東京・銀座の王子ホールで行った。会場参加金のほかに、会員各位から特別寄付を戴いて、平成26年度以降の上記の地域の子ども支援に、弾みをつけることができた。

読売新聞掲載の広告



東京・銀座の王子ホールで熱唱される岡村喬生さん

世界日報 5月11日 日曜版

- (2) インドネシアでは、以下の(A):学校飲料水水質改善および(B):東インドネシアの島々で Marin-Eco 教育を行う中学校建設プロジェクトについて、平成26年度からの実行の目途を立てることができた。

#### A: 東インドネシアの島々で Marin-Eco 教育を行う中学校建設プロジェクトを推進中。

C.P.I.の小西会長は、インドネシアでは初めてとなる<海洋資源保護を考えた漁業(Marin-Eco)>を正規授業に取り入れた中学校を、南スラウェシの東、世界最大の漁場であるバンダ海洋に隣接する、フローレス海洋の島々に展開しようと構想を立て、協働者のモハマディア大学および南スラウェシ州政府と相談し、平成25年度に、第一候補地であったプンカプ郡のサブトゥン島で中学校を開校させることができた。

これを実績にして、別の候補地を探していたところ、南スラウェシ州の南西部・タカラール郡に白羽の矢が立ち、タカラール郡長から、平成25年度末までに建設予定地の供与、学校の施設維持、建設に係る資材移動船の手配、資材保管所の提供、学校建設後の教師および職員の給与、子どもたちの教材等必要な供与について確認書、および住民からの建設希望署名簿が入った。準備が整ったので、C.P.I.は平成26年度に日本国外務省に認定NPO法人連携申請を行う。



タラル郡  
タケケ島の  
中学校建設  
予定の用地

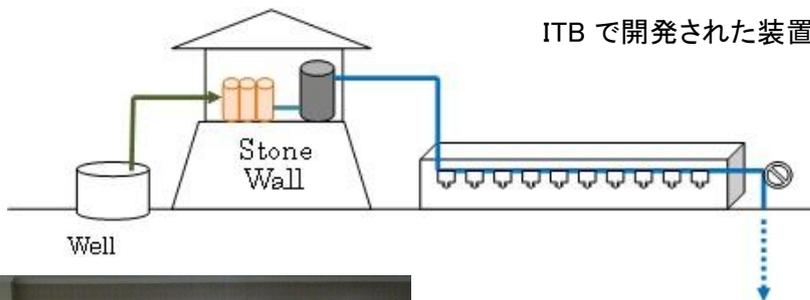


小学校はあるが、  
中学校がない。  
どうする？



子どもたちに中学で勉強することについて聴取した。  
聴き取りを行っているのは、社会心理学を専攻している大学院生。日本へ留学したいとの希望がある。

B: 学校飲料用水質改善；インドネシア・東ジャワ州の学校への浄水施設第1号機の設置を行う件。  
インドネシアの地下水は飲料水として水質に課題を抱えている。  
本案件は学校における子どもたちへの健康問題を解決し以て教育環境をよくすることが狙いである。  
平成25年度に行った協賛依頼(200万円)に応じて下さった寄付者(C.P.I.理事)のお蔭で、平成26年度に設置を実現できることとなった。



東ジャワ州政府と協議する小西会長



小学校での実施協議の様子

[詳細資料]

1. 教育里親制度プログラム (定款第7条第1項第1号)

(1) スリランカ協力団体 SNECC との協働

教育支援の明細

付表-1) SNECC への教育支援金の前期—当期の実績比較 (金額:千円)

	2012年	2013年	
	実績	実績	備 考
里親数/CPI 里子数(人)	554/613	526/604	
学用品費	3,945	3,793	学用品: 制服、ノート、かばん等
毎月支給奨学金	8,385	8,062	補習クラス、特待生補助、通学バス、薬代等
年内支給奨学金	670	645	通学靴、制服仕立費、写真代等
(小計①)	13,000	12,500	教育里親からの支援金および特別会計にて賄った
地域ボランティア費			地域センターの日常活動実費は SNECC 負担
調査・報告作業費			教育里子選考・日常把握・報告等活動費は SNECC 負担
(小計②)	0	0	
合計	13,000	12,500	

(2) インドネシア協力団体 PPKIJ との協働

教育支援の明細

(付表-2) PPKIJ への教育支援金の前期—当期の実績比較 (単位:千円)

	2012年	2013年	
	実績	実績	備 考
里親数/里子数(人)	204/238	186/197	
中学生学費	305	187	学費の支援
高校生学費	1,777	1,503	
中高生試験費	380	361	中高生試験費、卒業試験費の支援
大学生学費	380	740	大学1、2年生までの学費支援
教育里子会の活動	1,415	1,514	教育里子の集会・彼らの社会活動などを支援
調査・日常把握等			地域リーダー・アシスタント電話・郵送・交通費等実費
電話・郵便・交通費等			その他の現地の地域経費
(小計)	( 4,257 )	( 4,305 )	
卒業生会活動			2014年に卒業生会の集まりを準備中である
調査等活動実費	1,819	615	
合計	6,076	4,920	

2. 2013 年度 県別教育里親登録口数 推移表（期末現在）

県別	期首	新規	退会	期末	IN	SL
北海道	14	0	0	14	2	12
青森	5	0	0	5	1	4
秋田	3	0	0	3	1	2
山形	3	0	0	3		3
岩手	3	0	0	3	1	2
宮城	7	0	0	7	3	4
福島	8	0	0	8	3	5
東京	188	1	8	181	55	126
山梨	10	0	0	10	6	4
千葉	54	1	3	52	20	32
神奈川	109	0	5	104	24	80
埼玉	50	0	2	48	11	37
茨城	27	0	0	27	7	20
富山	0	0	0	0	0	0
新潟	6	0	2	4		4
群馬	4	0	1	3	2	1
栃木	5	0	1	4	1	3
信州	11	0	1	10	2	8
福井	2	0	1	1	0	1
石川	2	0	0	2		2
静岡	24	0	1	23	5	18
愛知	7	0	1	6	2	4
三重	5	0	0	5	1	4
岐阜	6	0	0	6	3	3
大阪	21	0	1	20	3	17
京都	8	0	1	7	1	6
滋賀	4	0	0	4	2	2
兵庫	15	0	1	14	2	12
奈良	8	0	1	7		7
和歌山	1	0	0	1		1
鳥取	3	0	0	3		3
島根	2	0	0	2	2	
岡山	6	0	0	6	2	4
広島	3	0	0	3	1	2
山口	5	0	0	5	2	3
徳島	2	0	0	2		2
高知	1	0	0	1		1
香川	0	0	0	0	0	0
愛媛	1	0	0	1	1	0
福岡	62	2	4	60	14	46
佐賀	0	0	0	0	0	0
長崎	3	0	0	3	1	2
熊本	10	0	1	9	2	7
大分	13	0	2	11	3	8
宮崎	7	0	0	7	1	6
鹿児島	0	0	0	0	0	0
沖縄	5	0	0	5		5
海外	0	0	0	0	0	0
<b>計</b>	733	4	37	700	187	513

一般会計収支比較表					(単位:千円)
勘定科目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度予算	平成25年度実績	25年度実績-予算
(経常収支の部)					
I 経常収入の部					
会費収入					
正会員入会金収入	9,398	9,080	9,210	8,766	-444
正会員会費収入					
寄付金収入					
スリカ教育支援金収入	13,790	13,224	13,296	12,624	-672
インドネシア教育支援金収入	4,970	4,888	4,896	4,464	-432
賛助支援金収入	808	745	750	590	-160
一般寄付金	445	428	500	292	-208
スリカ活動指定寄付金	539	654	500	20	-480
インドネシア活動指定寄付金	597	117	500	0	-500
国際協力応援団寄付	274	107	不明	58	58
教育里親活動25周年寄付			不明	1,819	1,819
雑収入			0	17	17
インドネシア特別会計から繰入			1,000	0	-1,000
運用財産利息収入(国内)	1	1	1	1	
<b>経常収入合計</b>	<b>30,822</b>	<b>29,244</b>	<b>30,853</b>	<b>28,651</b>	<b>-2,202</b>
II 経常支出の部					
事業管理費(別紙)	9,562	9,209	9,253	9,469	216
教育支援事業費					
スリカ教育里親制度プログラム	14,000	13,000	13,000	12,500	-500
インドネシア教育里親制度プログラム	5,173	4,257	4,405	4,305	-100
スリカ特別会計への繰入	0	654	500	20	-480
インドネシア特別会計への繰入	0	1,094	500	1,194	694
海外出張費	1,219	722	1,000	1,621	621
プロジェクト専門家委託	0	10	10		
国内活動費					
国内出張費	187	112	145	0	-145
地域会活動費	34	27	30	8	-22
総会関連費	409	566	560	460	-100
教育里親活動25周年事業費				715	715
報告・広報費(会員への連絡)	634	303	350	311	-39
IT広報費	571	548	400	503	103
予備費			700		
<b>経常支出合計</b>	<b>31,789</b>	<b>30,502</b>	<b>30,853</b>	<b>31,106</b>	<b>253</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>-967</b>	<b>-1,258</b>	<b>0</b>	<b>-2,455</b>	